

～読み聞かせは 心育ての 魔法の杖～ 柳田 邦男氏
絵本の花畑より 黒川町うちどくだより 26年新春号

平成26年1月黒川町家読連絡会発行
 うちどくブログ 読書の郷 黒川
http://blog.goo.ne.jp/kuro_uchi

**九州うちどくネットワーク
 フォーラムヨ伊万里特集**

基調講演「柳田邦男氏」

基調講演では、家読の応援
 団を自認するノンフィクシ
 ョン作家の柳田邦男さんか
 登壇して「読み聞かせは心
 講演の魔法の杖」と題して
 柳田氏は「ネット社会の中
 で心がゆがめられがちなか
 り、読者の人格形成に「絵本
 の読み聞かせが重要な」と説
 いた。



家読テーマソング『こころつないで』の合唱で、
 オープニングを飾った皆さん



チラシとリーフレットの山、発送作業もボランティア



チラシデザインもボランティア



毎月
**第一日曜は
 うちどくの日
 テレビを消し
 家族ふれあい
 読書をし
 ましょう**

「家読(うちどく)」とは「家庭
 読書」の略語で、「家族ふれ
 あい読書」を意味します。家族
 で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」するこ
 とを目的としています。同じ時
 間、同じ空間を家族で共有し、
 読んだ本についてお話してい
 ただければ、きっと楽しい時間
 となるでしょう。黒川町はうちど
 くで「思いやりの心あふれるま
 ちづくり」をめざします。

家読の郷黒川町

全国の「うちどく」情報はこちら kuro-uchi.com

**ボランティア分科会
 (黒川町の発表)**

今回、九州うちどくネットワ
 ークフォーラムに参加すること
 になり、発表者の崎田さん、島
 田さんを始め、どんぐりや、メ
 ンバーも何人も打ち合わせのメ
 ールを合せていただきました。表
 示の内容は、黒川町と読書の関
 りについて、家読推進のモチ
 ーフ地区として、黒川町の取り
 のめり、あゆみについて、メン
 ーの再確認することができ、こ
 れまで続けてきた活動の足とを
 改めて見つめ直す、いい機会と
 なりました。

これからも、たくさんの方々
 に読書の良さを知っていただき
 ます。また、色々な地域の方々との
 情報交換したことを活かした活
 動になるよう、メンバー一同、活
 動し、思いながら頑張ってい
 たいと思いますので、今後とも
 の皆さんとの協力をお願いし
 ます。



発表者の声

家読について、初めて九州ネ
 ットワークフォーラムが伊万里
 で開催されること。正直、どれ
 くらい参加があるのだろうか
 と少々心配がありました。青
 森や秋田、福島、東京、埼玉、
 高知、岡山などからの参加者も
 多かった。今回、「家読」への
 関心の高さに驚きました。

私たちは、フォーラムの第4
 分科会「読み語りボランティア
 活動」の場で発表させてもら
 いました。この会場は、満員
 の状態で、読み語りの活動への
 関心はとて大きいと感じまし
 ました。

今回、多くの団体や機関の代
 表の方が発表された中で、私
 たち黒川町のおはなしどんぐり
 も出場できたこと、人間形成
 にも影響が大きい「家読」に関
 わらせてもらっていること、こ
 れも喜びを感じました。そして、
 私たちの地道でも確かな活動を
 会場のみならず、全国に発信
 することは非常に喜ばしいこ
 とだと思っています。



今年度、町民の方から
 絵本購入のためのご寄付
 3万円をいただきました。
 ありがとうございます。

「おはなし」の感想

1月21日(土)家読フォーラムに参加して
 いた感想です。

柳田邦男先生の講演では絵本の作りの
 絵本に込められた思いを聞き、これ
 まで以上に、一冊一冊の絵本に込めら
 れた思いを感じました。

シンポジウムでは立場や年齢の異なる方
 々の話を聞いて学びました。特に黒
 川町の森戸先生の話は、お祖父さまの
 の立場で、海軍勤務がせざるを得な
 る微菜全一入の苦労、自由な暮らし
 への憧れが伝わりました。

また、分科会では「家読の郷 黒川町を
 目指して」の柳田邦男先生の講演が
 印象に残りました。先生は、家読の
 数々の実践から、家読の重要性を説
 いてくださいました。先生の話は、家
 読の重要性を説いてくださるだけでなく、
 先生自身が家読を通じて、心豊かな
 生活を送られている姿が、とても印象
 に残りました。

先生の話は、家読の重要性を説いて
 くださるだけでなく、先生自身が家
 読を通じて、心豊かな生活を送ら
 れている姿が、とても印象に残り
 ました。



森戸さんはシ
 ンポジウムで、
 孫との家読の
 様子を語った

3月2日(日) 10時～家読のすすめ発表会 話題の武雄図書館の館長が子どもと読書を語ります
 ～こころつないで ひろげよう うちどくの輪～